

ふるど



議会だより

町花：山百合

3月定例会 No.127
平成26年4月21日

当初予算案の減額訂正請求を可決……………	2
一般会計第4次補正予算を否決……………	4
子ども園建設工事変更契約の締結(臨時会) ……	5
一般質問 26年度の主な事業など6議員10問 ……	6



ふるどの子ども園オープン

町側から議案訂正請求

当初揭示額

42億9,500万円を訂正

削減額は5億2,465万円



議案審議討論風景

議案 審議

議案の訂正請求について

開会初日に提案された26年度一般会計予算から公民館改修工事費及び、町民第1体育館改築に伴う設計委託料・用地買収費を減額訂正したいと、町側から議案の訂正請求が提出されました。

3月定例会は、3月7日から13日まで、7日間の会期で開催されました。副町長の選任のほか16議案が提出され審議しましたが、平成25年度一般会計補正予算は企業立地助成金が計上されているとして、賛成少数で否決しました。新年度の一般会計予算は公民館改修工事費・体育館改築関連予算の併せて5億2465万円の減額訂正請求が町側より提出され可決しました。一般質問には6人の議員が新年度の事業や、重点事業の進め方など10問に論戦を展開しました。

討論

反対

岡部淳一 議員

一般会計当初予算は町の一年間の予算であり、議会の審議前に訂正するのであれば、事前に十分な協議をするべきと考え反対します。

採決

賛成 8
反対 3

可決

Q 公民館の改修・体育館の改築は26年度の主要事業なのに、なぜ減額訂正するのか。
A 両事業ともに、より説明が必要と判断したことから、予算を訂正するものです。

可決した26年度の予算額は

一般会計

37億7,040万円

公民館改修・体育館改築関連予算を減額

**議案
審議**

平成26年度一般会計予算

26年度当初予算は、議案の訂正請求議案審議の後減額された予算案を原案として審議しました。

Q 幼稚園児の給食はどこで調理するのか。

A 子ども園の施設で調理します。

Q 工事の繰り越し防止の考えはあるのか。

A 早期発注を図ってまいります。

討論

反対

岡部淳一 議員

納税義務が発生しない使用料・手数料に消費税増税分が転嫁されており、また当初予算を訂正するなど予算編成にも問題があると考え反対します。

賛成

佐川勇司 議員

生活環境の整備や子育て支援関係予算も充実し、町民が安心して暮らせる予算内容となっております。

採決

賛成 10

反対 1

可決

**議案
審議**

赤ちゃん誕生祝金

支給条例の改正

これまで第3子から30万円としていたものを新たに第2子に対しても10万円、第4子以降には50万円の祝金を支給するための改正。

平成26年4月1日から適用

採決

全員賛成

可決

請願審査

福島県最低賃金の引き上げと

早期発効を求める意見書提出の請願

◎提出者 石川地区連合 議長 鈴木 茂彰
●紹介議員 高木 節男

採決

福島県内きこの原木産業の復興を求める請願

◎提出者

福島県きこの原木産業の未来を考える会

代表 阿部 茂幸

●紹介議員 岡部 淳一

採決

補正予算を否決

25年度一般会計第4次補正予算

審議案

25年度一般会計第4次補正予算

歳入歳出それぞれ1億754万2千円を減額し予算総額を39億7173万3千円とする補正予算。町民第1体育館改築に伴う調査設計委託料6000万円の減額、社会資本整備総合交付金の追加割り当て4500万円の他、企業立地促進条例に基づく操業助成金1617万円が含まれていました。

Q当初予算に計上されていた操業助成金の支出はどのような状況か。

A現在支出に向け手続き中であり、確認出来次第執行する予定です。

Q当初に計上された予算執行を、どう捉えているのか。

A年度内執行を前提としているが計画内容により出来ない場合もあります。

討論

反対

高木節男 議員

支出予定先の企業に対しては、廃校跡地対策支援として低価格での譲渡・進入路の改良・固定資産税の5年間の減免のほか、県からの支援も受けており操業助成金相当分についてはすでに支援は受けていると判断されるため反対します。

賛成

佐川勇司 議員

厳しい社会情勢の中、町として生活環境の整備、福祉雇用対策が実施され将来に備えた積み立ても行われており賛成します。

反対

岡部淳一 議員

補正予算に含まれる重要な部分は認識しているが当該企業への助成金の妥当性については多くの疑問が出されており反対します。

賛成

佐藤弘信 議員

操業助成金は条例に基づき申請されたもので、跡地利用支援とはリンクするものではないと考え賛成します。

採決

賛成 5

反対 6

否決



副町長に選任された

濱津 篤さん

学歴

東北大学

経歴

福島県市町村行政課

住所

郡山市田村町金屋

年齢

44歳

第1回 臨時会

26.2.13 ~ 14

平成26年第1回臨時会は、2月13日に開かれ、幼保一体化施設建設工事に伴う、工事請負契約の変更について審議しましたが、変更内容に疑問があるとして会期を14日まで延長し、現地調査を行い、原案どおり可決しました。

議案 審議

幼保一体化施設建設

工事の変更契約

Q 児童の安全・安心を第一とする施設なのに、なぜ転落防止柵や手すり

Q 1mあたり10万円する防護柵、同じく1m6万円の手すりとはどう

A 当初は不要と考えていたが、現場協議の結果、安全上必要となった。

A 防護柵については、木製（樹脂加工）です。手すりについてはステンレス製の樹脂被覆で2段のものです。

採決

全員賛成

可決



変更内容確認のため現地調査を実施

全員協議会

26.2.13

報告事項

第1回臨時会前に全員協議会が開催され、平成26年度の主要67事業と、幼保一体化施設建設の進捗状況について説明を受けました。主要事業では町公民館の改修計画、町民第一体育館の改築計画に関する、施設の配置や規模、利用計画に対し質疑が集中しました。

第2回 臨時会

26.3.20

第2回臨時会は3月20日に開かれ、3月定例会では否決した補正予算でしたが、企業立地促進助成金を削除した予算が提出され、原案どおり可決しました。

議案 審議

25年度一般会計第4次補正予算

討論

反対

緑川栄一 議員

企業立地促進助成金は企業が業務拡大のため投下した資金に対するもので、育成にはなくてはならないものであり、これを削除した予算に反対します。

賛成

高木節男 議員

当該企業は廃校跡地利用対策として、譲渡価格や道路改良のほか県からの補助金も交付されるなど、すでに助成金相当分の各種支援を受けており、削除した予算に賛成します。

採決

賛成 9

反対 2

可決

町民の声を伝える

町政に生かす

町民の考えを
ただす

一般質問

一般質問は、3月11日に6人の議員が10問の質問を行いました。質疑の一部を要約してお伝えします。



さかわ ゆうじ 議員
佐川 勇司

26年度新規事業の構想は

町の活性化に向け調査検討

町長

平成26年度主要事業は町の活性化に必要な取り組みと認識しますが、内容確認のため、次の点について伺います。

佐川 バイオガス発電の基礎事業は今後どのような構想か。

町長 下水処理汚泥や生ゴミなどから発生する、メタンガスを燃料とする発電で売電や熱利用方法など、検討を進めます。

佐川 古殿材ブランド化及び、町産材商品開発事業について、林業活性化に期待がかかる取り組みは。

町長 町産材の価値を高める方策として、市場の価格など調査し、製品開発も視野に地域材ブランド確立の可能性について検討を進めます。

佐川 才竜内石神線は交通量も増加し、重要路線であります。近年落石が数か所発生し危険と思われる。本年度の整備内容と、今後の計画はどうか。

町長 本年度は、舗装の打ち替えと、落石防止の対策を実施中です。今後は法面対策を含めた、改

良工事を実施します。また、その他の落石箇所は、実態を把握しながら対策します。



26年度工事予定の才竜内石神線 堀越坂



今後の活用が期待される旧古殿保育所

佐川 旧愛宕団地の跡地活用と今後の取り組みは、保育所跡地の活用として冬期間対応優先の高齢者向け集合住宅はどうか。

町長 平成26年度は、宅地分譲を見据えた土質調査等を実施します。保育所の今後の活用については、ご指摘の内容も参考にしながら、検討します。



ブルドーザーによる除雪作業



みどりかわ えいいち
緑川 栄一 議員

町の除雪体制は

建設業者12社と

町直営によるもの

町長

2月15日・16日の大雪で町内にも、50cm・70cmという豪雪地並みの降雪があり、昭和55年の大雪以来の大雪となりました。他県や県内自治体においても、通行止め等による孤立や、立往生が起きて生活弱者は、危機的状況にあったと聞いております。町においては町当局及び、建設業者の献身的なご努力により、大事に至らなかった事に安堵しております。



大雪に威力を発揮するトラクターショベル

そこで町の除雪体制について伺います。

緑川 現在の町の除雪体制は。

町長 平成25年度の除雪体制については、昨年11月25日に町内建設業者12社と町直営及び各業者担当路線の割り振り等の打合せ会を行い、町直営は27路線約45km、各業者担当は合計で97路線、約155kmを実施することとしております。

緑川 建設会社への借上げ料の充当は。

町長 各業者と契約している建設機械借上げの単価契約に基づき、作業代金をお支払しています。

緑川 各路線の優先順位は。

町長 一級町道、二級町道等、重要幹線を優先に開始し、順次、枝線について行うこととしております。



町所有のトラクターショベルでの作業



その他の質問

・幼保一体化施設について



おかべ じゅんいち 岡部 淳一 議員

除染計画の実施状況及び 雪害対策は

除染計画は森林を除き終了

町長

原発事故収束の見通しさえ、たまたない状況の中我が町の除染計画も取り組みの最中であり、25年度には住宅除染や堆肥・稲わらの仮置き場搬入などの事業が実施されています。しかし、今年に入ったの大雪では大変な状況が続き、計画の進捗に影響が出ていると思います。そこで、農業被害と合わせて次の点について伺います。

岡部 仮置き場のパイプハウス設置及び堆肥・稲わらの搬入状況。また大雪の被害や影響はなかったのか。

町長 県補助を活用しパイプハウスを3棟設置しました。搬入は稲わらは完了しましたが、堆肥は予定した22戸のうち9戸の完了となっています。また、残る13戸の搬入と搬入実績によりパイプハウス1棟が不足する見込みとなったことから県と



大雪により全壊したパイプハウス

26年度の実施にむけ協議しています。

岡部 除染計画に基づく今後の対策。取り組み内容は何か。

町長 計画に基づき町が実施する除染は森林を除き本年度で終了したと考えています。

なお町内モニタリングは継続的に実施します。

岡部 大雪による施設及び農作物の被害状況、被害に對しての支援体制は具体的にどうなるのか。

町長 現在、農業用施設でパイプハウス被害47棟、山菜を中心とした農作物の被害24アール、酪農関係で原乳505キログラムを廃棄処分したと報告がありました。

現時点で具体的な支援策は検討中です。

幼保一体化施設の運営のあり方は

保育料は現行どおり

町長

幼保一体化施設ふるとの子ども園が、この4月に開園します。施設建設においては様々な問題点も発生しましたが、安全安心をより充実した形にする努力がはかられたと思います。開園する子ども園の運営は保護者の立場に立った運営が望まれます。そこで次の点を伺います。

岡部 保育料の体系を変えるとの話がありますが変えるのであればどのように変えるのか。

町長 26年度の保育料の体系は現行と変わりありません。

岡部 保育士・先生及び臨時職員の配置はどうなるのか。

町長 現在のところ153人の子供が利用する予定ですが、正職員10人臨時職員23人の合計33人で対応します。

岡部 給食費の徴収はどうなるのか。

町長 26年度については現行と変わりありません。

岡部 幼稚園児の預かり保育の中で、土曜日等も実施してほしいとの保護者のニーズにこたえるべきと思うが、出来ないとしたら理由は何か。

町長 幼稚園の入園説明会において、25年度と同様の対応で実施すると説明しています。

その他の質問

- 重点事業の考え方や進め方
- 介護保険給付内容変更への考え方と対応



鮫川沿いのサクラ

過疎・辺地計画に基づき施策
の実現に努めている

町長

振興計画の中間評価は



さとう かずお 議員
佐藤 一夫

町は10カ年を区切りとした振興計画を策定し行政運営の指針としています。計画的かつ持続的な町づくりを推進するため、「基本構想」「基本計画」「実施計画」を構成し、現在第6次振興計画の中間点です。具体的取り組みについて伺います。



佐藤 現在までの経過と計画の重要性・役割について、どう捉えているのか。

町長 「緑と人が響きあふぬくもりのあるまち・ふるどの」を基本理念とし、基本計画に基づき各種行政施策を推進していきます。



幼稚園 春の遠足

佐藤 振興計画と具体的な施策との関連性についての評価は。

町長 基本計画における現況と課題解消のために実施計画であります。過疎地域自立促進計画、辺地計画に基づき、諸政策の実現に努めています。

佐藤 町づくりアンケート調査による町民ニーズ等も含め、どのような取り組みを考えているのか。

町長 振興計画策定にあたっては、町民アンケートを実施し、町民ニーズを捉え施策に反映していきます。

今後も時代にあった施策を進めますが、現状においては、少子高齢化が喫緊の課題であるとの観点から、安心して暮らせる町づくりを目指すと考えています。



憩いの森で花見弁当



すずき いちろう 議員
鈴木 一郎

農林業の振興策は

従事者の就業条件の改善と 仕組み作りが重要

町長

農家労働者の高齢化、後継者がいないなどの理由により耕作を放棄した土地や有害鳥獣に荒らされた土地がかなり見受けられます。また、減反政策の廃止・T P P問題等農林業を取り巻く状況は非常に厳しいものがあります。今後の対策について伺います。

鈴木 耕作放棄地は何ヘクタールあるのか。

町長 農業委員会が行ないました調査によれば再生可能な農地が72ヘクタール、再生利用が困難と見込まれる面積は75ヘクタールとなっております。

鈴木 耕作放棄地の今後の対応は。

町長 農家の意向を確認し、人・農地プランによ

り利用調整を推進して行く考えです。

鈴木 有害鳥獣対策及び捕獲隊員への対応は。

町長 捕獲隊員の協力によりパトロールや捕獲のほか電気牧柵の助成を行っています。

捕獲隊員とは活動日程表に基づき連携を図っています。

鈴木 森林再生事業の取り組みは。

町長 全体計画を作成中ですが、26年度は戸草地内の町有林の間伐を行います。

鈴木 県の森林環境税の利用状況について。

町長 毎年500万円余りが交付され、25年度はチェーンソー講習会や林業講演会のほか、子ども園に県産材を使用した机椅子を購入しました。



荒廃が進む農地



間伐により整備された森林

鈴木 千年の森育成事業ピアールのために、展示林をもうけてはどうか。

町長 適地を選定するなど、検討していきたいと考えています。

鈴木 森林資源を利用した雇用の創出と、具体的な町の活性化対策はなにか。

町長 林業関連施設の整備が雇用の創出に繋がるもの町の活性化に繋がるものと捉えています。

また、森林所有者への還元とともに林業従事者の就業条件の改善に繋がる仕組みづくりも重要な可欠であるとの認識を持っています。





たかぎ せつお 議員
高木 節男

定住促進策は

企業誘致や既存企業の支援

町長

歴史的には、人口増加とともに拡大成長の坂を上り続けてきましたが人口減少時代になって、高度経済成長期の逆の現象が起こっています。

前回までは、人口減少が多くの課題を投げかけることは確かなことであり行政サービスのあり方公共施設のマネジメント税収に対する予想などの基本的考えなどを伺ってきました。

今回は、誤解がないように述べると、私は人口減少が続く状況を好ましいとは考えていません。

しかし、地理的条件や地域の特性などから考えると人口はある水準まで減って下げ止まりし、定常人口で推移していくと予想されます。そこで次の点について伺います。

高木 地理的条件や地域の特性から定常人口の推測をどの様に行っているか。



町镇中心 竹貫地区商店街

町長 どのくらい人口で減少が静止するかの予測は難しいが、人口減少は全国的な問題であり、我が町においても地理的条件から人口減少は続くものと思っています。

高木 若者の定住を後押しする支援策は。

町長 快適な生活環境を求める若者のニーズに対応するには、安定した雇

用の場の確保が重要課題であると考えており企業誘致や既存企業の支援策に取り組んでいます。

高木 婚活支援策の新たな取り組みは。

町長 石川地方5町村が連携して婚活イベントを開催しており、次年度も継続して実施したいと考えています。



町営住宅 横小路・池ノ内団地

高木 共働き子育て世代の支援策は。

町長 費用負担の面からは赤ちゃん誕生祝い金支給制度、第2子以降の保育料無料化及び幼稚園授業料の無料化などがあり子育て支援の面からは幼稚園での預かり保育事業及び社会福祉協議会で行っているファミリーサポーター事業があります。

高木 限界集落の捉え方と支援策は。

町長 限界集落という定義による社会的共同生活の維持が困難となっている地区はないと認識していますが、一人暮らしの高齢者世帯、高齢者夫婦世帯が増えている状況においては、現在行っている安否確認のための緊急通報システムなどを含めた支援策等の充実が必要であると考えています。

常任委員会の活動

総務常任委員会

子ども園・仮置き場等を

視察調査



子ども園ホールを合同調査

開園が間近となっている子ども園の建物内部及び堆肥・稲わらなどの搬入・保管状況確認のため仮置き場の視察調査を産業建設常任委員会と合同で行い担当者から説明を受けました。
現地調査後、付託された請願1件の審査を行った。

産業建設常任委員会

堆肥仮置き場・繰越工事等を視察調査



仮置き場（堆肥）視察・調査

繰り越し工事が見込まれている馬場橋架設工事や幼保一体化施設建設工事及び敷地造成工事のほか、農業系汚染廃棄物処理事業の進捗状況などを調査し担当者から進捗状況等の説明を受けました。
また、仮置き場を視察し汚染廃棄物の管理状況を確認し説明を受けました。
現地調査後、繰り越しとなる工事について、施工業者への早期着工と指導監督、適切な発注と管理について意見を交わすとともに、付託された請願1件の審査を行った。

追跡レポート

その後 どうなった？

テーマ こども誕生祝い金の増額は

Q 平成25年12月一般質問から

町政における人口減少対策は。

A 町長答弁

2子目誕生祝い金の支給など、子育て支援の拡充を行います。



その後の
対 応

少子・高齢化に伴い人口減少が急速に進み、その対策の一環として特に子育て支援対策として、従来から子ども誕生祝い金の支給が制度としてありましたが、条例を改正して支給を第2子からとするなど拡充されました。



鬼面かぶって福は内

	現 行	改正後
第2子	なし →	10万円
第3子	30万円 →	30万円
第4子以降	30万円 →	50万円

みんなのページ

No.18

今回紹介するのは、

国際結婚をした三森孝一さんの家族です。

中国の吉林省出身の明子さんと平成11年4月に結婚しました。

まもなく長男祐太君が生まれ、今年3月には小学校を卒業しました。

明子さんは、日本に来た当初は周囲の環境に慣れるまでの間、運転手をしている孝一さんの車と一緒に乗っていたそうです。

また、仕事も初めは家で内職をしていましたが、今では町内の会社に勤務し、運転免許も取得して車で通勤する毎日です。



家族で紅葉狩りへ



こたつを囲んで家族団らん

来日当初は不安もいっぱいありましたが、家族や近所の方、会社の仲間からいろいろなことを教えてもらい、また心配ごと相談にのってもらうなどして今日にいたっています。

おしゅうとの二三四さんに炊事の手ほどきを受けましたが、はじめの頃は中国風の辛い料理が多く日本の味付けになれるまで少し時間がかかったそうです。

これからの夢は、祐太君の成長を楽しみに頑張っていきたいとのことでした。



「ふれあい日本語教室」でディズニーシーへ

町の取り組み

現在、町には19組の国際結婚者がおり、こうした外国人花嫁を対象に「ふれあい日本語教室」を開催し簡単な日常会話の修得と、家族同士の交流・親睦を深める町外研修などを定期的に行っています。

**“町政を知るよい機会”
議会を傍聴してみませんか**

次回の
定例会

6月 中旬